

教科名：公民

【 2 学年 公共 】 ルーブリック評価表

観 点	内容のまとめり	評価規準	評価基準			評価方法
			A	B	C	
知識・技能	(１) 公共の扉 (２) 現代の民主政治と日本国憲法 (３) 現代の経済社会と国民生活 (４) 国際社会と人類の課題 (５) 持続可能な社会を目指して	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について深く理解している。 諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を十分に身に付けている。	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解していない。 諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けていない。	定期考査 発問・発表 課題等
思考・判断・表現	(１) 公共の扉 (２) 現代の民主政治と日本国憲法 (３) 現代の経済社会と国民生活 (４) 国際社会と人類の課題 (５) 持続可能な社会を目指して	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に十分に判断できる。 合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を十分に身につけている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断できる。 合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につけている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断できない。 合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につけていない。	定期考査 レポート 発表・発問 課題等
主体的に学習に取り組む態度	(１) 公共の扉 (２) 現代の民主政治と日本国憲法 (３) 現代の経済社会と国民生活 (４) 国際社会と人類の課題 (５) 持続可能な社会を目指して	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を深める	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての態度を十分に身につけている。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての態度を身につけている。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての態度を身につけていない。	授業への取り組み 提出物 プレゼンテーション